

## 1. 在宅医療のミッション・ビジョン・ゴール

別表

在宅医療（在宅療養支援）とは……→病院以外でのみとりの医療ともいえる。

### I. 在宅医療のミッション

→多様な終末期の過ごし方について患者・家族のサポーターとなる。  
〈健やかに生き 安らかに逝くために……〉

### II. 在宅医療のビジョン

→“よくある病気”を生活の場でみつけ、患者をサポートする。（既往症、生活スタイル）

必要に応じ専門医療機関を紹介。

→専門医の診断・治療のメドがつけば、在宅療養支援を再開する。

医療コンサルジェ

そのために単なる医療技術だけではなく、

- ①患者をささえる医療・介護システムや、患者の病状や社会状況にふさわしい医療・介護の“ネットワーク”について習熟している必要あり。
- ②患者家族の意見を上手にまとめあげていく能力をもつ必要あり。
- ③患者・家族の身体面だけではなく心理的・社会的背景を少しずつ理解してゆける能力をもつ必要あり。
- ④常に患者側に立って（場合によって家族も考慮しつつ）「社会的ソリューション」を意識している必要あり。
- ⑤よい意味で腰が軽くなければならない。“フットワーク”

### III. 在宅医療の“ゴール”

→“生の重さ”“死の重さ”を考えながら感じながら「医療と介護のフロント・ライン」に立っているという意識を患者・家族と共有する。

“チームワークがすべて！”

（高瀬私見）

出典：「現代のエスプリ 在宅医療 2007年11月号」